

<最優秀賞>（1件）

農福連携自然栽培パーティ

【概要】障がい者が、耕作放棄地を無農薬・無肥料の自然栽培を実施し農作物を販売することで、里地里山が回復し、かつ、障がい者雇用を創する、農業、福祉、健康が連携した取組。

（実施主体：一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会 場所：全国）



<グッドライフ特別賞>（5件）

食用瓢箪で地域を救え！～瓢箪倶楽部秀吉の挑戦～

【概要】廃線による通学の利便性低下やバス通学への変化によるCO2の排出増加等を防ぐため、高校生有志が集まり、地元で有名な“瓢箪”を活用してグリーンカーテンやイルミネーション、食用瓢箪の特産品開発等を行い、地域活性化、廃線の阻止に貢献。

（実施主体：瓢箪倶楽部秀吉 場所：岐阜県）



<優秀賞>（4件）

全額市民出資による市民共同太陽光発電所事業

【概要】市民主体の再生可能エネルギーの普及促進と電力の地産地消を目的に、全額市民出資で太陽光発電所を3機設置。事業収益を介護老人保健施設への太陽光発電設備の設置やこども園への園舎看板寄付、環境教育等に活用することで地域に還元。

（実施主体：一般社団法人市民エネルギー生駒 場所：奈良県）



「アーバン・シード・バンク里山BONSAI」プロジェクト

【概要】人の手が入らなくなった里山に眠る在来の種子（シードバンク）を、耕作放棄地に作ったほ場で苗木に育て、“里山BONSAI”として販売。BONSAIの作製を障がい者に委託し、生物多様性の保全のみならず障害者の自立・就労支援にも貢献。

（実施主体：株式会社環境ビジネスエッセンス 場所：東京都・神奈川県・静岡県）



相模湖・若者の森づくり

【概要】相模湖畔で荒廃する森林を整備するボランティアが、FSC認証（適切な森林管理を行い、その森林由来の木材・木材製品であることを認証する制度）を取得。質の高い施業を行うとともに、森林体験学校の開催等により、中高大学生等の多数の若者が参加する仕掛けを行いつつ、継続的な活動を実施。

（実施主体：NPO法人緑のダム北相模 場所：神奈川県）



柏崎市ECO2プロジェクト

【概要】事業者が環境活動（清掃活動、省エネ診断の受診等）に取り組むことでポイントが付与され、対象となる設備等を更新した後に1ポイント1円として補助金申請できる取組。自治体が事業者の環境活動の支援、省エネ設備更新による地域経済循環等を支援。

（実施主体：柏崎市市民生活部環境政策課 場所：新潟県）



魚のゆりかご水田プロジェクト

【概要】ほ場整備事業等により水路との連続性が失われてしまった琵琶湖周辺の田んぼに、再度、生き物の賑わいを取り戻すため、農家が集まり、魚道整備や田んぼオーナー制度、無農薬・無化学肥料栽培等を実施し、地域活性化を目指す。

（実施主体：せせらぎの郷 場所：滋賀県）



2県を繋ぐ森里海の連携「紀の川じるし」で流域の産業を元気に！

【概要】奈良県、和歌山県の2県をまたぐ「吉野川・紀の川」の流域の林業、農業、漁業を「紀の川じるし」ブランドとして森里川海のつながりを可視化。地域産業をいかにした環境教育の教材化や、産業のブランド化による特産品の販売促進等を実施。

（実施主体：公益財団法人吉野川紀の川源流物語 場所：奈良県、和歌山県）



OKUTAこめまめプロジェクト

【概要】無農薬・無化学肥料で栽培されたお米を「提携三原則（全量買取・即金・再生可能価格）」で取引し、農業の活性化を図る、NPOと企業が連携した取組。地域の遊休地で有機農業を行うことで生物多様性が高まり、里山保全に貢献。

（実施主体：NPO法人生活工房つばさ・遊 場所：埼玉県）



バラで被災地を変える～スーパー植物を利用した環境修復型農業～

【概要】東日本大震災による自然の減少、沿岸部での水田の再整備による生態系バランスの偏りの懸念から、環境修復型農業が必要と考え、植栽が低労力で6次産業化も視野に入れた野バラを植栽。被災地の復興と農業及び環境回復を目指す。

（実施主体：宮城県農業高等学校科学部復興プロジェクト 場所：宮城県）

